

## 課題名 : MRI を用いた高次視覚情報処理に関する神経線維束の研究

### 1.研究の概要および目的 :

我々ヒトは日常生活の中で、絶えず目の前のモノや風景などを見て生活している。その視覚情報の脳内処理経路は、特に、読書や図形認識など高次視覚情報の処理は不明な点が多い。近年、脳デジタル画像技術(構造的 MRI、拡散強調 MRI、安静時機能的 MRI)の急速な発展により、高次脳機能を担う脳内ネットワークの解析が進んでいる。

当該研究は、ヒトの読書や図形認識などにおける高次視覚情報の脳内の情報処理経路の解明を目的として、脳デジタル画像技術を用いて千葉大学大学院医学研究院と量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所が共同研究を行うものである。

### 2. 研究期間 : 2025 年 4 月 ～ 2027 年 3 月 31 日

個人情報など: 研究資料(脳 MRI 画像、心理テストなど)はすべて匿名化され、個人名などプライバシーに関する情報が外部に漏れることはありません。遺伝子解析などは行わない。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類 : 脳 MRI 画像、心理テスト結果

4. 研究機関 : 千葉大学大学院医学研究院 機能形態学 (研究代表者: 山口淳)  
千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター  
千葉大学大学院医学研究院 認知行動生理学  
量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所  
分子イメージング診断治療研究部

5. 外部への試料・情報の提供 : 外部への資料提供はありません。  
得られた成果は、学術論文として発表することがありますが、  
個人情報などは公開されません。

6. 個人情報の管理方法: 個人情報、検査結果などの記録、保管はすべて登録フォーム上で行われます。

7. 知的財産に関して : 今回の研究で新しい発見があった場合、その発見は知的財産として認められることがあります。そのときのすべての権利は研究責任者側が有することになりますので、ご理解ください。

8. 研究の資金・利益相反 : 研究資金は全て国からの科学研究費で行い、利益相反はありません。

以上、この研究の科学的妥当性と倫理性は、本学の倫理審査委員会において審査、承認されています。個人情報の保護については、万全の体制下にて管理致します。

本研究について詳しくお知りになりたい場合は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内でお答えいたします。

### 本件に関するお問い合わせ先

〒260 8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学大学院医学研究院機能形態学受付